

HIV感染者及びAIDS患者の発生動向(詳細版)

1 新規HIV感染者数及びAIDS患者数

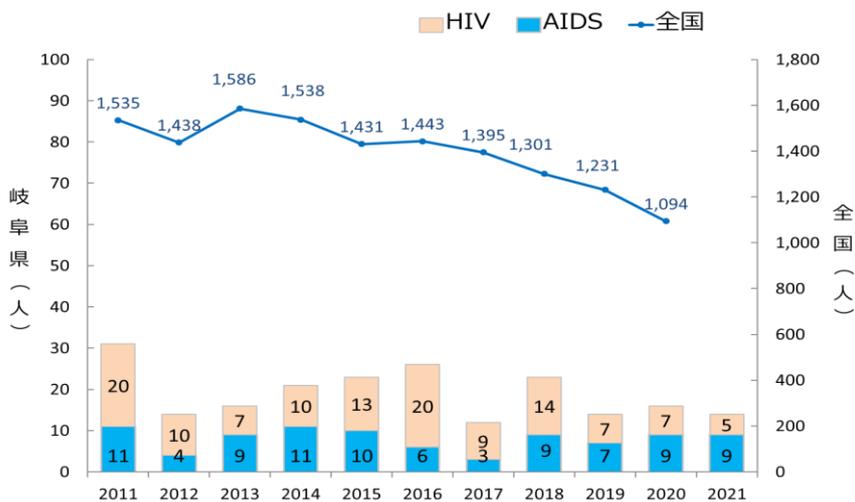
区 分	全 国		岐 阜 県	
	2020 年新規	1985 年(S60)からの累計	2021 年新規	1985 年(S60)からの累計
合 計	1,094 人(前年 1,236 人)	32,479 人	14 人(前年 16 人)	365 人
新規 HIV 感染者数	747 人(前年 903 人)	22,486 人	5 人(前年 7 人)	204 人
届出時 AIDS 患者数	347 人(前年 333 人)	9,993 人	9 人(前年 9 人)	161 人

※累計には死亡者数・転出者数含む

2 岐阜県HIV感染者及びAIDS患者国籍別性別報告数(2021年)

区 分	日本国籍			外国籍			合 計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
合 計	8 人	0 人	8 人	3 人	3 人	6 人	11 人	3 人	14 人
新規 HIV 感染者数	4 人	0 人	4 人	1 人	0 人	1 人	5 人	0 人	5 人
届出時 AIDS 患者数	4 人	0 人	4 人	2 人	3 人	5 人	6 人	3 人	9 人

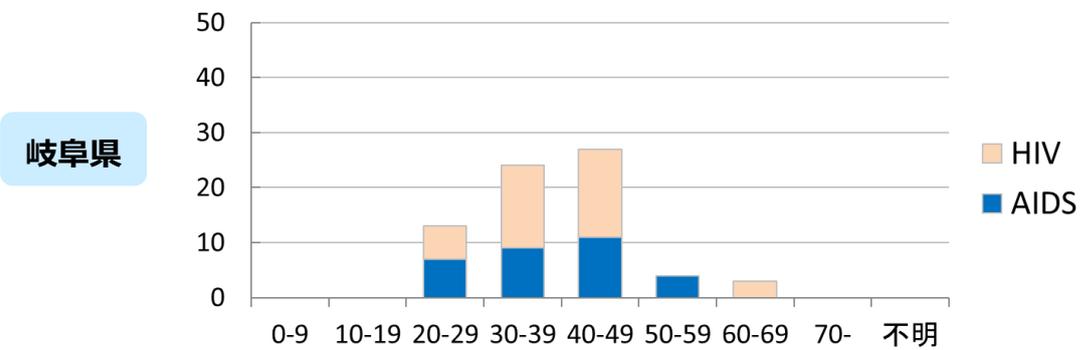
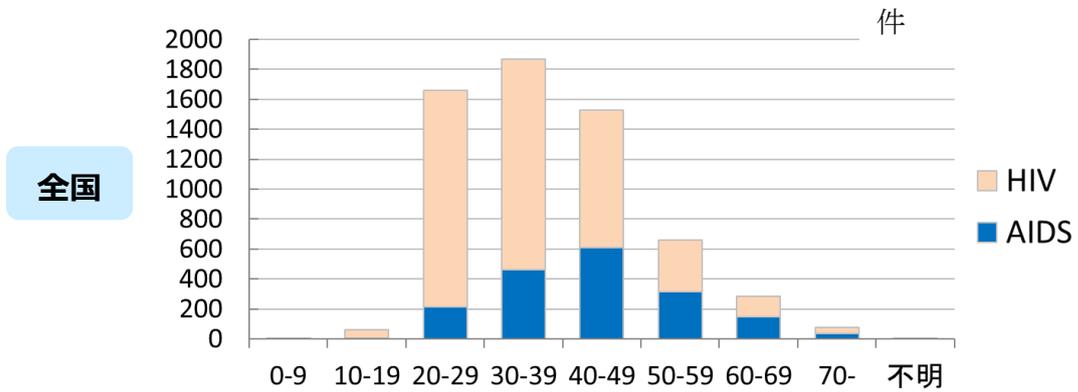
3 新規HIV感染者及びAIDS患者数の推移



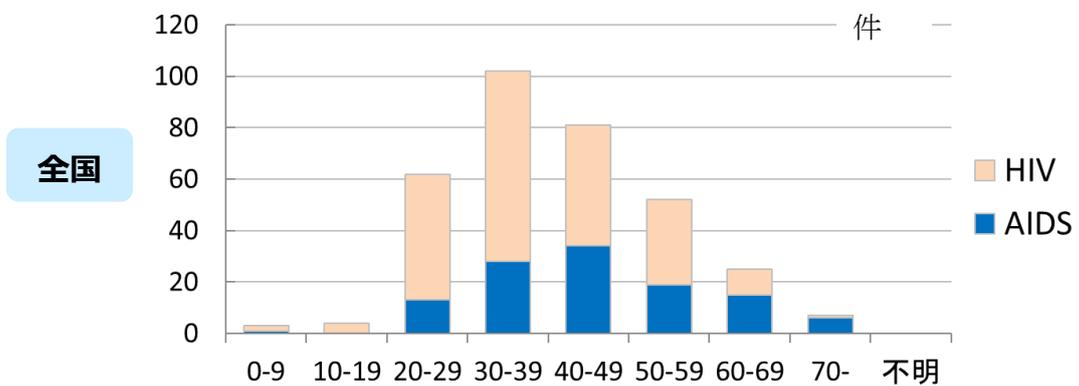
- ・全国の新規HIV感染者 747 人、届出時AIDS患者 347 人と、併せて 1,094 人の報告があり、前年より 142 名減少したが、届出時AIDS患者は、新規報告者の約 3 割を占めている。
- ・岐阜県は、新規HIV感染者 5 人、届出時AIDS患者 9 人と、併せて 14 人の報告があり、前年より 2 名減少した。また、届出時AIDS患者は、新規報告者のうち約 64%と高い。
- ・岐阜県の外国人国籍の新規HIV感染者及び届出時AIDS患者数は、前年 1 人であったが、2021 年は 6 人であった。
(男性:マレーシア 1 人、ベトナム 1 人、タイ 1 人 女性:ブラジル 2 人、フィリピン 1 人)
- ・全国の新規HIV感染者及び届出時AIDS患者数の年次推移をみると、2013 年の 1,586 人をピークとし、横ばいからやや減少傾向となっている。

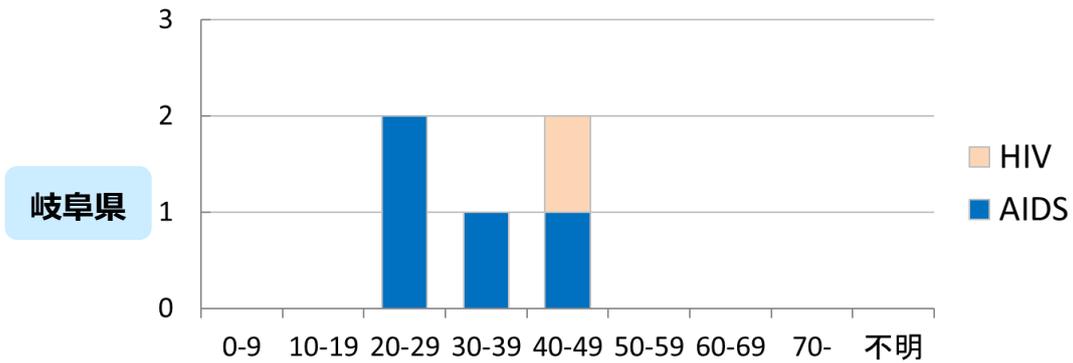
4 性別、年代別報告件数（全国：2016～2020年／岐阜県：2017～2021年）

<男性>



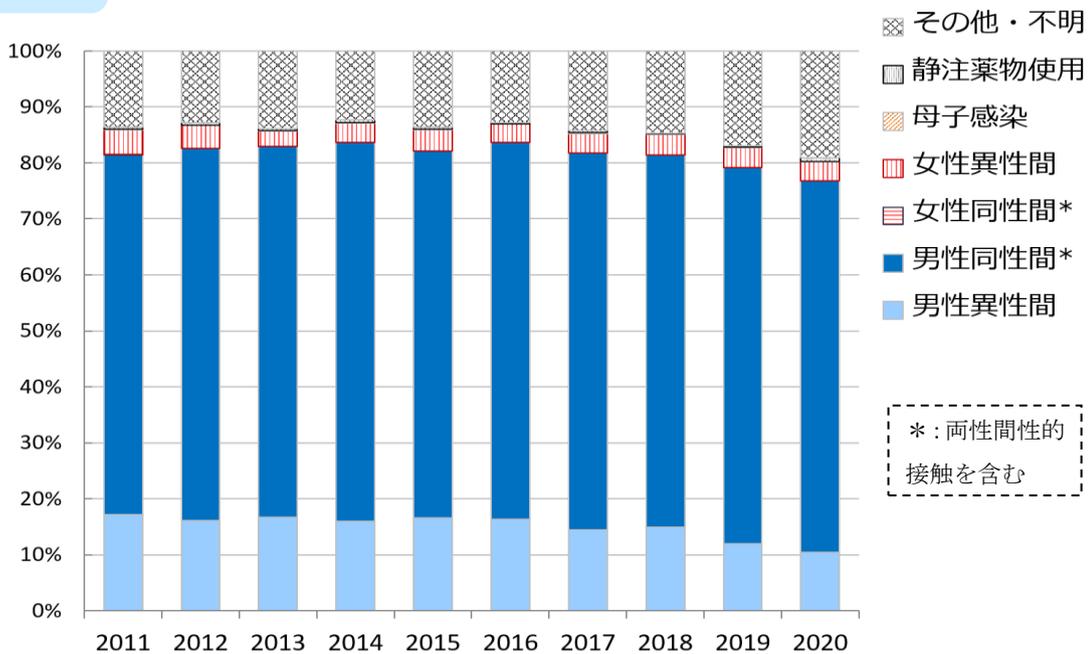
<女性>



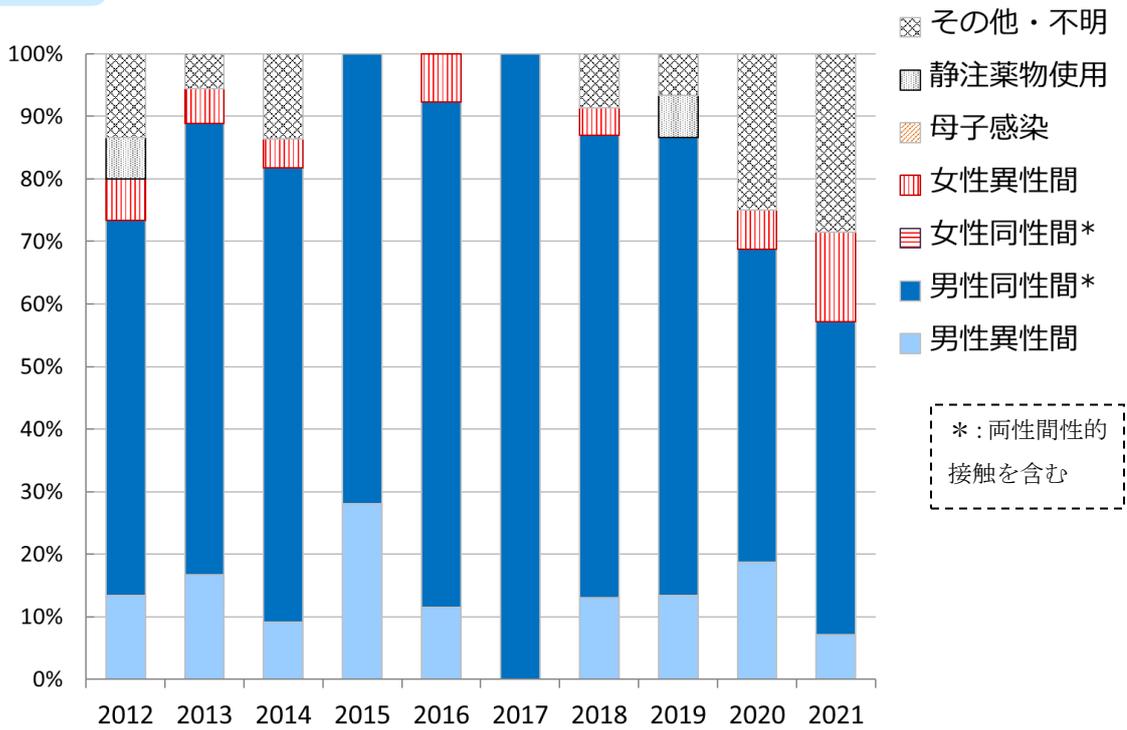


- ・新規HIV感染者及び届出時AIDS患者のうち、全国は約95%、岐阜県は約93%が男性である。
- ・直近5年間の男性の年代別報告数は、全国は30歳代が最も多い(30.4%)が、岐阜県は40歳代が最も多い(38.0%)。また、届出時AIDS患者数をみると、全国も岐阜県も40歳代が最も多かった。
- ・全国も岐阜県も、20歳～40歳代で報告件数の80%以上を占めている。
- ・全国における女性の年代別報告数は、30歳代が多い。

全国



岐阜県



- 感染経路については、全国、岐阜県ともに性的接触による感染が大半である。
- 感染経路別割合の推移をみると、全国では男性同性間の性的接触による感染が全体の6割以上で、直近10年間はほぼ同じ割合で推移している。
- 岐阜県においても、男性同性間の性的接触によるものが多く、2021年は新規HIV感染者及び届出時AIDS患者の5割が男性同性間であった。

全 国：厚生労働省エイズ動向委員会「令和2(2020)年エイズ発生動向」

岐阜県：2021年感染症発生動向調査速報データ等